



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2
TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当：上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課
〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3
TEL.025-526-5111(内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ→ [ふるさと上越](#)



福寿草

「たより」No.258 目次	会員数と「ふるさと市場」販売報告	1
	Jネットの活動とお知らせ 新年会、サロン、勉強会 など	2
	同窓会・郷友会コーナー	4
	とれたて上越	4
	・上越市ふるさと暮らしセミナー開催 ・ジムリーナ開催 ・謙信公、全国第2位に ・さけめし、駅弁大將軍 ・前島密翁、講演会 ・高田文化協会	
	上越産品販売のお知らせ	7
	鯉橋師匠高座予定、および Jネットからのお知らせとお願い	8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在598名です。(本年度目標:600名)

(2) 「ふるさと市場」(12月)の販売状況

合計 150 件 ¥ 288,047 (前年同月 27 件 ¥ 39,200)

Jネットの活動とお知らせ

(1) 新年会の開催

令和2年1月9日（木）午後5時、新潟県人会館にて開催。新年会は初の試みで、しかも松の内も明けたばかりであるため、ご参加も限られると懸念しましたが、50名弱のご出席。

上越からも、共生まちづくり課より渡邊課長ならびに秦主事をお迎え、さらに魚住かまぼこ店田村店主様を含めて3名、上越ベイコク竹田様、それに（有）肝太の池田様らが参加され、会場が狭く感じられるほど熱気でいっぱい、大いに盛り上がりました。

杉臣理事の乾杯のあと、酒1升瓶は差入2本を加えて10本弱、ワイン4本、焼酎3本、ビール多数がきれいさっぱりと飲み干されたのです。驚きの酒量です。3つの卓上のオードブル、刺身盛合せ、上越からの煮物と漬物、それに加えて、皆さまからの心のこもった差入れのお料理の数々も、出席者の元気すぎる胃の中に無事納まりました。最後は、差し入れの東京会館の高級ケーキ「マロン・シャンテリー」もぺろり。食べ物が多すぎると予想していた幹事側の完全な敗北でした。会場では、メイドイン上越や上越ベイコク商品、それに魚住かまぼこの販売もあり、新年会に色を添えました。

初代会長の佐久間顧問からもメッセージが届き、みんなで力を合わせて、元気で楽しいJネットを作っていこうと思いを新たにしました次第です。

話は途切れませんでした。最後は、御年80歳の藤田香代会員による澁刺とした万歳三唱にて締めとなりました。

勢いは2次会にも持ち越され、女性会員数名を含む10数名で大いに飲み続け、気がつけば、午後10時を回る有様。

会員の元気さに圧倒された新年会となりました。



共生まちづくり課
渡邊課長 秦主事



(2) 令和元年度第2回理事会の開催

新年会に先立ち、同日に、共生まちづくり課渡邊課長ならびに秦主事ご出席のもと、Jネット令和元年度第2回理事会が開催された。

2報告（令和1年度事業中間報告、令和1年度決算案）3議案（令和2年度事業計画、令和2年度予算案、総会付議の規約改正）などすべて審議、承認。

(3) 東京サロンの予定 次回は、2月13日(木)、次々回は3月12日(木)。

東京サロンは、毎月第2木曜日 17:30 から、新潟県人会館（台東区上野 1-15-10 大秀ビル 2F 最寄駅は地下鉄千代田線「湯島」徒歩2分、JR山手線「御徒町」徒歩7分）において、会費 1,500 円にて開催します。

(4) 第45回勉強会のお知らせ

—国立西洋美術館建築ツアー ル・コルビュジェの建築

国立西洋美術館は、戦後、フランス政府に接収されていた膨大な松方コレクションの返却を受けるために建設されました。設計は、モダン建築の旗手ル・コルビュジェ。西洋建築に京都奈良の趣きも取り入れ、本館が出来上りました。2016年、この本館は「ル・コルビュジェの建築作品として、近代建築への顕著な貢献」が認められ、「世界文化遺産」に登録されました。

今回は、本館にル・コルビュジェの建築に込めた思いをさぐります。ご案内は、6年間ボランティアガイドされてきた大堀隆嗣さん（直江津出身）です。

詳細は、同封のパンフをご覧ください。

日 時：令和2年2月28日（金）
9:50AM（厳守）集合。
集合場所：国立西洋美術館前庭
雨天時はロビー。
参加人数：15名限定
（満員になり次第、締め切ります）



昼食は、上野中華レストラン旦妃楼飯店を予定。

お申し込みは、Jネット事務局（03-5244-5138）まで。

(5) 令和2年度 春の交流会の予定

令和2年高田城公園百万人観桜会（令和2年4月1日 - 15日）に、合わせて、恒例のJネット春の交流会を次のように開催します。

●春の交流会：令和2年4月12日（日）

13:00より、なかしま食堂にて開催

●ふるさと訪問：同4月12日（日）-14日（火）

ふるさと訪問では、最新設備で新規開館の施設（県立謙信公武道館、上越体操場ジムリーナ）をはじめ、懐かしの町並みを活かして観光の脚光を浴びる高田市内、それに、上越の名所をいくつか巡ります。

もちろん、前回大好評の「どろエビ」クラスのうまいものも用意します。

ご参加いただき、ゆったりとふるさとをお楽しみください。

●申し込みは、4月3日（金）までに、事務局・宮里まで。

TEL03-5244-5138、FAX 03-3294-6106、メール k.miyazato@araipt.co.jp。



ライオン像のある館
（昨年の交流会）

(6) Jネット文化講演会変更のお知らせ。

毎年1月恒例のJネット文化講演会は、本年5月23日（土）に、年次総会（同日15：00）に続いて、16：00-17：00にて開催いたします。

講師に瀧澤康二氏（東京板倉会名誉会長で、日本体育大学同窓会長、国際体操連盟元副会長。Jネット会員）を迎え、TOKYO2020にちなみ、オリンピックにまつわるお話を予定しています。お楽しみにご参加ください。申し込みについては、令和2年度年次総会のご案内と合わせて、次号以降にお知らせいたします。

同窓会・郷友会コーナー

「たより」発行日から3ヶ月以内に開催する会をご案内します。Jネット事務局まで情報をお寄せください。

(1) 葛飾区新潟県人会 新年会懇親会

恒例の新年会懇親会を開催します。葛飾区在住の皆様、奮ってご出席ください。

日 時：令和2年2月23日（日）12：30-15：30

会 場：レインボーホール5階（葛飾シンフォニーヒルズ文化会館別館）

京成線青砥駅徒歩7分。亀有駅からは、南口より新小岩駅行

バスにて葛飾シンフォニーヒルズ文化会館下車。同会館裏の別館です。

照会先/連絡先： 会長 内田 晃（080-1334-9017）

(2) 東京浦川原会 年次総会・懇親会

次の通り、年次総会・懇親会を開催します。今回は30周年の記念総会です。浦川原からも多数のご出席を予定しています。ぜひともご出席ください。

日 時：令和2年3月15日（日）11：50-15：00

会 場：上野精養軒 JR上野駅、ならびに京成上野駅より徒歩5分。

照会先/連絡先： 和栗 時男（090-7183-1552）

とれたて上越コーナー

(1) 上越の行事と話題

緊急のお知らせ

上越市ふるさと暮らしセミナーの開催

上越での生活、仕事の事情、ならびに移住支援制度も紹介します。個別相談会も予定。

日 時：2月15日（土）13：00-15：00

会 場：ふるさと回帰支援センター（有楽町交通会館4F）

申込・お問合せ：上越市ふるさと暮らし支援センター（上越市 自治・地域振興課内）

TEL 025-526-5111 E-mail jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

詳細は、同封のご案内をご覧ください。

① 令和2年高田城公園百万人観桜会

令和2年高田城公園百万人観桜会は、4月1日-15日に開催されます。

ポスターは2月半ば頃から貼り出される予定。 詳細は、次号にてご案内します。



② 上越体操場「ジムリーナ」が開館

1月26日、大潟区九戸浜に、上越市立上越体操場「ジムリーナ」が開館。鉄筋2階建てで、総面積は約3800㎡のこの施設は、体操の町上越を目指して、体操関連の最新装置を設備。ほぼ全ての体操競技が可能。2階には1周180mのランニングコースも併設。東京オリンピック出場のドイツチームの事前合宿も予定されている。



③ 謙信公、全国第2位に。 一戦国武将の全国人気投票。

昨年12月28日、テレビ朝日系列で「戦国武将総選挙」という番組が、4時間半近く放映された。戦国武将2700人の中から、全国10万人の投票で人気武将を選ぶという趣向。この中で、謙信公は、幸村(4位)、家康(5位)、秀吉(6位)、信玄(7位)を抑えて、堂々第2位。なお、第1位は信長。

謙信公は、自ら先陣を切ったり、織田軍を打ち破ったりと強いばかりでなく、鉄砲対策を工夫した兜や豪華な出陣飯にみる部下思い、利ではなく世のためという義の心などが評価され、新潟、山形だけではなく、全国から幅広く支持されていたのはうれしいことでした。ただ、ライバルの信玄公が勝頼に「自分の死後は謙信を頼れ」との遺言を残したことや自分の娘を景勝に嫁がせるなど、敵も認める「人となり」の紹介も欲しかったところ。直江兼続(12位)、上杉景勝(20位)両将も上位入り。

番組では、出陣飯(おたち飯)を、春日山駅前の「から松や」で再現、筆者はかつてそこの常連でした。

④ 「鱈めし」に続き、「さけめし」が第8代駅弁大將軍に！

昨年12月、JR東日本主催の管内駅弁NO.1決定戦「駅弁秋の陣2019」で、全国消費者27千名の投票により、多数の駅弁の中から、ホテル・ハイマート(直江津)の「さけめし」が最高賞の駅弁大將軍に選ばれた。2012年の初代駅弁大將軍である、同社の「鱈めし」に続く快挙となった。

上越地元の材料を上越の女性が心を込めた手作り弁当です。東京駅構内の「駅弁屋祭」でも販売。定価1200円(税込)。



右：第8代駅弁代將軍「さけめし」 左：初代駅弁大將軍「鱈めし」

郷土の偉人 前島密翁 没後100年記念講演会 講師は 作家 加来耕三氏

密翁は、「縁の下の力持ち」に徹したが、その業績は、郵便制度や鉄道、海運事業をはじめ、江戸遷都、郵船・日通、報知新聞、東京専門学校(早稲田大学)などの設立、と枚挙のいとまありません。渋沢栄一が日本産業の父とすれば、密翁は、日本産業インフラの父と言えましょう。

昨年4月27日に前島密翁没後100年目の命日を迎え、下記にて記念講演会が開催されます。講演会を盛り上げ、大河ドラマ化への一歩を進めましょう。多くの皆様のご来場をお待ちしております。お知り合いにもお声がけをお願いします。

【記念講演会】・開催日時：2020年2月24日(月・振休) 13:00~16:00(12:30開場)

・会場：リージョンプラザ上越(コンサートホール)。 入場料無料。

① 基調講演 加来耕三氏 「今こそ郷土の偉人 前島密に学ぶ」

加来氏は、BS朝日『余地の人』では、密翁を龍馬より高く評価、昨年は、『前島密の構想力』を出版。密翁の卓識豊富。

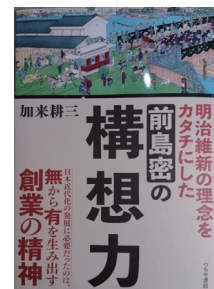
② パネルディスカッション

○ 加来耕三氏

○ 井上卓朗氏(郵政博物館館長)

○ 荒川将(上越市立歴史博物館主任・学芸員)

コーディネーター：高橋直子(新潟日報社 上越支社報道部長)



主 催：郷土の偉人“前島密翁”を顕彰する会、新潟日報社。

共 催：上越市。特別協賛：日本郵便。協力：郵政博物館・前島密記念館。

●入場は無料ですが、事前申し込みが必要(聴講券を発行します)です。

Jネット会員および関係者の申し込みは、2月15日(土)までに、Jネット事務局宮里までお願いします。その際は、参加者名と年齢をお伝えください。

(2) なんでも上越

奥深い上越の世界を紹介します。今月は、戦後間もないころから、高田や上越で地方文化担い手として大きな貢献をされてきた「高田文化協会」にご寄稿をお願いしました。

地域文化の灯を守り57年—高田文化協会の歩みと使命

高田文化協会事務局長 河村一美

「高田文化協会」ってなにをしているのですか？

う〜ん、知名度がいま一つ足りない。こんな奥深く、戦後の高田とともに歩いてきたのに…、と歯がゆい。

「そうですね、事務局にいらして下さい、文化の薫りに惹きこまれますよ」、と事務局を預かる私は自信いっぱいにお誘いします。…できたら、会員になって欲しい…と心の奥はまだ見せない私です。



河村事務局長

高田公園から、大手町通りをまっすぐ来ると、本町三丁目にぶつかる、そのぶつかったマンション二階に事務局があります。外から見えるので、とても入りやすい一室、広くゆったりとした空間は、居心地がなんともいいのです。先代の姉崎俊雄会長は、文化サロンという形に憧れていらっしゃいました。亡くなって十年、そのご遺志はようやく実現いたしました。

一時代前の呼称にふさわしい文化サロンでは、今日も入れ替わり立ち代わりのお客様で賑わっています。文芸・芸術・映画・歴史・文化等の放談に花が咲き、あまりに面映ゆく外では言えないことが自由に話せる雰囲気、また来客同士の情報交換の場も大切と、心がけております。

一番の仕事、同人誌「文芸たかだ」を年6回、奇数月に発行しております。活字離れ、高齢者が多い現在、同人誌の多くが廃刊になっていますが、そんななか、「文芸たかだ」は昭和34年に創刊号を発刊して以来、隔月発行を頑なに守り、令和2年1月、365号を発行いたします。

なぜ、60年もの間、途切れることなく続けられたのでしょうか。それはもちろん現会員280名の皆様の熱意とご支援、そして先人の方々の大いなる智慧と情熱の賜物ではないでしょうか。また、高田という温かな風土と深い歴史に支えられていたことも大きな要因と考えられます。

創刊号には初代会長の小和田毅夫氏の「発刊の辞」が載っております。格調高き美文が鏤められ、ひれ伏す思いで創刊号を折々に手にしていますが、発刊の辞の中では、「文藝冊子」に触れておられます。その「文藝冊子」こそが、高田文化協会の「文芸たかだ」の源でありました。

昭和20年、敗戦の色濃き時代に、高田に疎開していた小田嶽夫、濱谷浩、堀口大學などが都会の文化を運んでくれたのです。加えて地元の藤林道三、内山泰信、市川信次などが大雪の日々、たびたび集まり、「地方文化のために尽くさうではないか」と提案し、早くも翌年21年1月に『文藝冊子』を発行したのです。戦後1年しかたつていず、紙などどう調達されたのでしょうか。そこに集まった文化人の熱意にただただ、敬服するばかりです。文藝冊子は昭和22年に廃刊となりましたが、当時の賛同した作家たちは坪田譲二、古谷綱武、相馬御風、松岡譲、井伏鱒二、武田泰淳など錚々たる人たちでした。2年ほどして「文芸たかだ」が創刊、そしてそののち3年、満を持して高田文化協会が設立されました。

平成25年7月18日、高田文化協会は五十周年を迎え、初代会長小和田毅夫氏を讃え、小和田恆氏の講演会を行いました。私はその時事務局にいましたが、高田文化協会の偉大さに大きく震え、高田文化協会事務局にいるという自覚と誇りがその後の私を作っていました。

現会長は、榊原藩の御典医第十五代の藤林陽三氏、ワインを愛する文化人。副会長は手広く様々な事業を繰り広げる実業家、大島誠氏。「文芸たかだ」の編集長は岸田國昭氏。

高田世界館代表でありながら八面六臂の活躍で、名物編集長と呼ばれた田中武氏・吉越泰雄氏のあとを引継ぎながらも、独自路線を貫く気配です。

また高田文化協会は、同人誌を発行するばかりでなく、小川未明、夏目漱石、堀口大學を取り上げての文化講演会、障がい者施設「かなやの里」とのコラボ作品展、もっと高田の歴史・文化を知ってほしいと町巡りを行ない、高田文学マップも作り観光客に喜ばれています。まだまだやりたいことがいっぱい。

令和2年の事始めは、Jネットの原稿書きと相成りました。もしも高田文化協会に興味をお持ちになられた方、下記にご一報を！発行したての「文芸たかだ」365号をお送りします。

高田文化協会 〒943-0832 上越市本町3-3-3 ダイアパレス式番館203

TEL 025-525-2205 メールアドレス：t-bunka@joetsu.ne.jp。



文芸高田（同人誌）

（Jネット注）

河村一美氏は、作家としても活躍されており、昨年は、第27回小川未明文学賞選考において、全国から数百点の応募作品のなかから、見事、第2席の優秀賞を受賞されました。受賞作品「昔、瞽女さんが雁木の町を歩いていたんだよ」は近々刊行の予定です。

上越産品販売のお知らせ

●Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

●「新潟・上越妙高

うまさ直送！雪国マルシェ。

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、有楽町交通会館1Fで次の日程にて、開催されます。開店時間は、いずれも11:30～17:30。
・開催日 2月22日（土）、同23日（日）。

今回は大人気の米量り売りをご用意！白米・分づき米・玄米など少しずつお試しください。ぜひお気に入りのお米を見つけてください。

自然いっぱいの山間で育った新鮮なアスパラ菜・山ワサビ・干ゼンマイなど、珍しい野菜や漬物が並びます。上越直送！甘みの増したみずみずしい「雪下大根」はおでんにぴったり。今が旬！食べる「ほおずき」もビタミン豊富。ごはんのお供も多数用意。寒い季節におすすめです。

2月22日、23日出店者

アフコ秋山農場・櫛池農業振興会

花の米・丸久味噌・田舎のあじまんま

地酒コーナー：上越妙高の地酒・珍味など(23日(日)のみ)

☆次回雪国マルシェ開催予定

令和2年3月28日(土)29日(日)

●上越産品のギャラリーショップのお知らせ。

交通会館4FのJCV東京情報センターでは、「ギャラリーショップ」を開店しています。上越妙高の産品を販売する会員限定ショップです。

・営業時間：月～金曜日

午前11時～午後5時

（祝日、年末年始等を除きます）

西沢珍味販売様より新商品入荷しました！はたはたの磯焼き、ししゃもの磯焼きやワイン漬けたこなど、お酒のお供や夕ご飯のおかずにはピッタリな逸品をご用意しておりますのでぜひお立ち寄りください。

「雪国マルシェ」「ギャラリーショップ」お問い合わせ先 JCV東京情報センター（TEL 03 (5218) 7730）まで

◎会員ひろばは、急遽、2月開催のセミナーや講演会のお知らせを掲載したため、お休みです。

瀧川鯉橋 師匠 ◎出演予定◎

お問合せは、rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp、TEL & FAX : 03-3845-1202(鯉橋)、および各会場まで。鯉橋ブログ「七転び八起きの末のホンダラダ」でも出演予定掲載中。

◇2/1(土)梶原「いろは亭」昼公演
時 間:午後1時半～4時半ごろ
木戸銭:2300円(チラシ割引有り)
出 演:兼太郎、小もん、小助六-お仲入り-鷹治、扇兵衛、
だるま食堂、鯉橋(出演順)
会 場:梶原「いろは亭」(都電・梶原、またはJR上中里・尾
久より徒歩約7～10分。上中里3-1-4。線路沿いです)
お問合せ:03-6322-1622(いろは亭)

◇2/6(木)横浜にぎわい座・昼の部
時 間:午後2時～4時半ごろ。
木戸銭:2900円(各種割引有り、要お問合せ)
出 演:小太郎、ポロン、米多朗-お仲入り-鯉橋、のだゆき、
菊志ん(出演順)
お問合せ:045-231-2525(にぎわい座)

◇2/21(金)～29(土)浅草演芸ホール・昼の部
時 間:正午～4時半。※鯉橋は12時半ごろの交互出演。
木戸銭:3000円
主 任:古今亭寿輔。ほかに鶴光、笑遊など出演。
お問合せ:03-3841-6545(浅草演芸ホール)※昼夜入替制。
夜の部は「神田松之丞改メ伯山襲名真打昇進披露興行」
3500円。

2/24(月・祝)鯉橋の落語でひとやすみ(第29回)
時 間:午後4時～5時半 木戸銭:1000円
※終演後別途3000円で懇親会有。参加自由。
出 演:鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの高座有り。
会 場:喫茶「ひとやすみボン」(若木2丁目、環八沿い。
東武東上線・上板橋より徒歩約20分)
お問合せ:080-5544-9241(オビ)

3/17(火)銀座イタリー亭、落語会&賞味会。
時 間:午後6時半～。
木戸銭:8800円(フルコース料理&ワイン代込)
出 演:鯉橋(一席) お問合せ:03-3564-2371(イタリー)

=====

3/8(日)池袋演芸場・特別企画

「上越から、寄席の鯉橋を見に行くよ」(仮題)

時 間:午前10時～11時半

木戸銭:1500円

(関東圏から参加の方、定員60名になり次第メ切り)

※終演後、徒歩圏内の会場にて、鯉橋とランチ懇
親会あり。別途4000円位、参加は自由。

出 演:鯉橋(二席)、ゲスト色物

(落語以外の演芸。出演者未定)

会 場:池袋演芸場

(池袋西口、徒歩約3分。03-3971-4545)

お問合せ・ご予約

rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp(鯉橋メール)

または、090-4730-9032(鯉橋)まで。

※別枠で、上越から約30名が来場予定です。

皆さまのお越しをお待ちしております！

●●●●●●●●●●●●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●●●●●●●●●●●●

1. 上越タイムス電子版の閲覧を準備中。

休刊の月刊上越に代わるものとして、上越タイムス社様のご好意によりまして、会員様には、「上越タイムス電子版」の全部もしくは一部をJネットHPよりご覧いただけますよう、準備しております。令和2年4月から実施の予定です。

2. 記事、寄稿、投稿をお願いします。

「たより」は会員皆さままで作りあげていくものです。ご自身のこと、上越のこと、なんでも結構ですから、原稿をお寄せください。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。原稿の体裁などは編集段階でご相談いたしますので、形式にこだわらず、どしどしお寄せください。

◎次回の東京サロンは、2月13日(木)17:30より開催します。

(P.3をご覧ください)

◎次号「たより」は2月/3月の合併号となります。令和2年3月10日の発行です。